

平成 29 年度 日本赤十字社診療放射線技師会 東部ブロック研修会開催報告

開催当番病院： 長岡赤十字病院 田村厚司

平成 29 年 11 月 11 日(土)～12 日(日) 長岡グランドホテルにおいて、
平成 29 年度日本赤十字社診療放射線技師会 東部ブロック研修会を開催した。

開会日直前に 2 名の欠席(那須：山下明、深谷：飯島秀信)が生じたが、最終的に 8 県 18
施設および来賓を含め 79 名の参加者であった。

今回は安彦茂新会長から会長講演を頂いた。教育講演として、群馬県立県民健康科学大
学の佐々木浩二先生からは放射線治療に関するご講演、ならびに長岡赤十字病院の西原眞
美子先生からは救急外来の頭部 CT で見られる重要な所見について、また特別講演としては、
長岡造形大学の和田裕先生から「人間中心設計」についてのご講演を頂いた。

代表者会議では、来年度春開催の代表者会議の場所および日程、次回以降の東部ブロッ
ク当番病院の確認、ブロック委員選任方法の確認、今後のブロック研修会では会長講演と
災害講演が必須となることなどを討議した。

【プログラム】

11 月 11 日(土) 会場 4F 蒼柴

12 : 30 受付開始

13 : 00 開会式

大会長挨拶

長岡赤十字病院 林 智

院長挨拶

長岡赤十字病院 川嶋 禎之

13 : 15 会長講演

「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会

会長 安彦 茂 様

13 : 45 教育講演

「イメージガイドによる放射線治療」

群馬県立県民健康科学大学

教授 佐々木 浩二 様

14 : 35 休憩

14 : 45 一般演題 I

座長 長岡赤十字病院 菅井 正之

長岡赤十字病院 神林 裕司

1 一般撮影における読出し装置の違いによる検査時間短縮の検討

日本赤十字社医療センター

木本 茜緒

2 DMQC ファントムを用いた当院 MMG 装置における CNR・SCTF 管理幅の検討

長岡赤十字病院

本永 みなみ

3 放射線科におけるインシデント・ヒヤリハット報告への取り組み

- さいたま赤十字病院 石脇 剛弘
- 4 線量校正における気圧計の精度管理
- 成田赤十字病院 高橋 夕希子
- 5 頭頸部治療におけるセットアップエラー低減の取り組み
- 長岡赤十字病院 野村 知広
- 15 : 35 休憩
- 15 : 50 特別講演 座長 長岡赤十字病院 林 智
「人間中心設計 Human Centered Design」
長岡造形大学 学長 和田 裕 様
- 16 : 40 休憩
- 16 : 50 施設代表者会議 進行 林 智
議長 東部ブロック理事 大貫 信也
- 18 : 00 情報交換会 会場 2F 悠久

11月12日(日)

会場 2F 悠久

- 8 : 30 開場
- 9 : 00 教育講演 座長 長岡赤十字病院 入澤 佳弘
「救急疾患の頭部 CT 見逃してはいけない所見、放っておいてよい所見」
長岡赤十字病院 西原 眞美子
- 9 : 50 休憩
- 10 : 00 一般演題Ⅱ 座長 長岡赤十字病院 若月 栄介
長岡赤十字病院 飯浜 忠俊
- 6 私が受けた新人教育～急性虫垂炎～
深谷赤十字病院 小島 萌
- 7 胸腹部撮影における撮影条件の検討
那須赤十字病院 中澤 佑介
- 8 当院における全身外傷 CT プロトコールの検討
武蔵野赤十字病院 齊藤 大輝
- 9 ASSET における展開エラー発生条件の検討
武蔵野赤十字病院 東 大樹
- 10 3D-ASL の活用と展望
日本赤十字社医療センター 松本 ジョエル
- 10 : 50 休憩
- 11 : 00 次回当番病院挨拶 さいたま赤十字病院
- 11 : 30 閉会式